



令和7年10月号



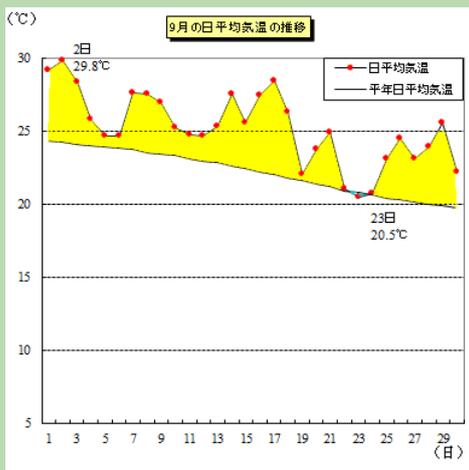
### 複雑な動きの台風

9月下旬に東の海上を進んだ台風第19号は、高気圧や上層の流れにのるタイミングの影響で、複雑な動きをしました。一度上層の流れに乗りそうになり西へ進むも乗り切れず、高気圧により押し戻される形で東へ進み、その後、上層の流れに乗って東へ移動しました。



### 9月の気候

9月は、周期的に前線が通過し、前線や湿った空気の影響を受ける時と高気圧に覆われる時があり、晴れの日は多くなりました。9月の月平均気温は25・1度とかなり高く、9月として2番目に高い気温となりました。雨の日の多い割に降水量は少なく、月合計降水量は108・0ミリと平年の62パーセント。月合計日照時間は167時間と平年より多くなりました。



### 一ヶ月予報 (気象庁発表)

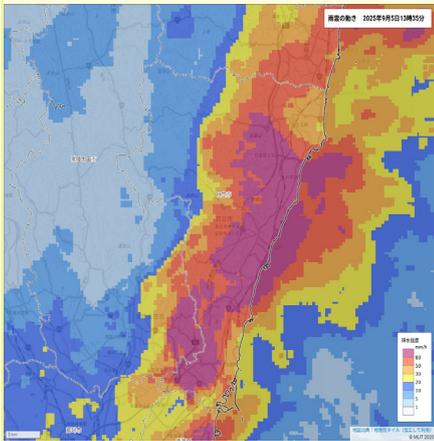
天気は数日の周期で変わりますが、暖かい空気に覆われる予想です。平均気温は「高い」、降水量は「ほぼ平年並み」、日照時間は、「ほぼ平年並み」となる見込みです。



### 台風第15号と前線

台風第15号は、9月4日3時に発生し、4日は九州の東の海上、5日1時に高知県付近に上陸し、9時には和歌山県に再上陸しました。その後、速度を上げて千葉県付近を夕方から夜にかけて進み、5日21時には、関東の東の海上で温帯低気圧に変わりました。日立市付近では台風の直接の影響はありませんでしたが、台風前面には南からの湿った空気が入り、5日午後の北からは前線が南下してきたタイミングで大気の状態が不安定となり、激しい雨が降りました。発達した雨雲により、局所的に突風があり、気象台の調査により13時39分に竜巻が発生したと推定されています。この竜巻により大塚駅西口では、駐車してある車が横転するなどの被害がありました。

9月5日13時35分頃の雨雲の様子



1時間最大降水量  
市役所46ミリ (13時53分)  
10分間最大降水量  
市役所16・5ミリ (13時40分)



### 天気用語の基礎知識

#### 警戒レベル レベル3

警戒レベル3は自治体が発表する、「警戒レベル3 高齢者等避難」が該当する。気象庁が発表する情報としては、大雨や洪水の警報、洪水予報河川の氾濫警報情報、高潮注意報 (警報に切り替える可能性が言及されているもの) が警戒レベル3に相当する情報であり、気象庁がこれらの情報を発表すると、自治体はキックル等で危険な場所などを確認し、地域を指定してレベル3 高齢者等避難を発令する。レベル3の段階では、高齢者等の避難に時間がかかる方は危険な場所からの避難が求められます。

#### ・・・神峰の山から・・・

温度計や雨量計などの観測機器は屋外においてあるため、いろいろな障害が発生することがあります。市役所観測所には、感雨計といって、雨粒が触れることで電気信号が記録され、雨が降ったことを観測する機器があります。24時間雨が降ったかどうか記録してくれるため便利な機器なのですが、雨粒以外にも反応してしまうことがあります。よくあるのは、鳥の糞で、年に数回あります。めずらしいものとしては、先日、バッタがとまっていたということもありました。

定期的に掃除しますが、鳥の糞がついたときは、急いで綺麗にしに行きます。